

令和3年9月30日

各位

公益社団法人日本学生陸上競技連合
副会長兼専務理事 永井 純

全日本大学女子駅伝対校選手権大会の出場校選出方法について

平素は日本学生陸上競技界発展のため格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記について関係者間で協議した結果、以下の理由により第40回大会から出場校選出方法を変更いたします。

皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 選出方法の変更に至った理由

- ・シード枠および成績枠で複数校が出場する地区学連において、基本枠で出場する大学の競技力が極端に劣る傾向がみられる。
- ・地区によっては、出場枠数と予選会出場校がほぼ同じ場合がある。
- ・宮城県警から、繰り上げスタートとなる大学数を減らすことを強く求められている。

2 新たな選出方法

- ・シード枠 8 (上位8校) ⇒ 変更なし
- ・成績枠 9 (9位～17位) ⇒ 変更なし
- ・基本枠 8 ⇒ 変更する
 - *成績枠で、枠を獲得できなかった地区に1ずつ配分する。
 - *残った枠については、5000m6名(当該年度内のタイム)の合計タイムにより出場校を決定する。最後の予選会終了後、速やかに出場大学を確定させる。
 - ※申込期限は地区予選会の日程が発表後、速やかに確定させる。
 - *対象となる記録は、開催年の4月1日～9月末日の期間に出した記録でなければならない。なお、電気計時による記録のみ有効とする。
 - *ひとつの地区学連の出場枠は最大で15(シード枠・基本枠・成績枠の合計)とする。出場枠が15を超えた地区学連は、超過分の成績枠を18位チームの所属する地区学連に譲ることとなる。

3 なお、この選出方法は第40回大会の選考より適用する。

【参考】

第38回大会の選出方法を現行ルールと新ルールで比較した場合の地区学連出場枠

地区	現行ルール				新ルール				
	計	シード枠	成績枠	基本枠	計	シード枠	成績枠	基本枠	アディショナル
北海道	1	0	0	1		0	0	1	5
東北	2	0	1	1		0	1	0	
関東	7	3	3	1		3	3	0	
北信越	1	0	0	1		0	0	1	
東海	3	1	1	1		1	1	0	
関西	7	3	3	1		3	3	0	
中国四国	2	1	0	1		1	0	1	
九州	2	0	1	1		0	1	0	
合計	25	8	9	8	25	8	9	3	

以上